仕　様

形　名		HE-3708B	HE-4652B
設置場所		屋内用	
タンク容量		0.37m³(370L)	0.46m³(460L)
定　格		単相200V 4.4kW	単相200V 8.5kW
沸き上げ湯温		約65℃/約85℃	
本体寸法		高さ1673mm×φ660mm	高さ2013mm×φ660mm
質量	本体	約49kg	約56kg
	満水時	約419kg	約516kg
安全装置		漏電遮断器・温度過昇防止器・アース端子	
温度検知		バイメタル式サーモスタット	
発熱体		シーズヒーター	
操作部	操作	湯温設定スイッチ(低・高) 漏電遮断器(電源レバー・テストボタン)	
	表示	沸き上げ中ランプ	

愛情点検　★長年ご使用の電気温水器の点検を

●電気温水器の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後10年です。

ご使用の際このようなことはありませんか。

- 設置場所が濡れている。
- お湯の出が悪い。
- お湯が早くなくなる。
- 時々漏電遮断器がはたらく。
- その他の異常、故障がある。

お願い　故障や事故防止のため、200V電源ブレーカーを切り不凍結水抜き栓を閉じてから据付け工事店に点検・修理(有料)をご相談ください。

形　名	
ご購入(据付け)年月日	年　月　日
据付け工事店(販売店)名	TEL

お客さまへ………おぼえのため、形名、ご購入年月日、据付け工事店名（販売店）を記入されると便利です。

HOLS 株式会社ほくでんライフシステム 〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目6番地 住友商事札幌ビル
TEL:011-207-6555

T962Z161H02

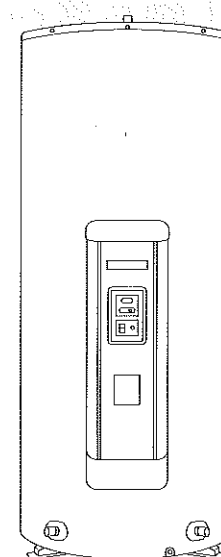
HOLS 電気温水器取扱説明書

ほくでんライフシステム

形名 HE-3708B・HE-4652B

このたびは、HOLS電気温水器をお買上げいただきましてまことにありがとうございました。

屋内形

認定品

この電気温水器（HE-4652B）は、申請によって第２深夜電力用として料金割引が適用されます。ご不明の場合は、必ず据付け工事店（販売店）または最寄りの電力会社にご相談ください。

- ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。
- 保証書は必ず「お買上げ日・据付け工事店名（販売店名）」などの記入を確かめて、据付け工事店（販売店）からお受け取りください。
- お客様ご自身では据付けないでください。（安全や機能の確保ができません。）

試運転は据付け工事店の立会いのもとで行ってください。安全を確保するための正しい使い方について、据付け工事店から説明を受けてください。

もくじ

安全のために必ず お守りください

- ご使用の前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、据付工事説明書とともに、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。（据付工事説明書は、据付工事店（販売店）から必ず受けとってください。）

- 誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

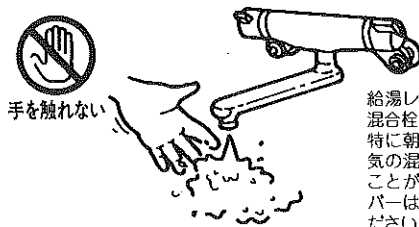
- 本文中や、本体の表示に使われる図記号の意味は次の通りです。

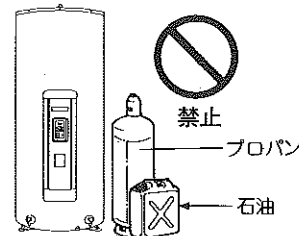
⊘	絶対に行わないでください。
!	必ず指示に従い、行なってください。
⏚	必ずアース工事を行なってください。

⚠	感電の恐れあり
⚠	やけどの恐れあり
⚠	発火の恐れあり

⚠警告

やけどに注意

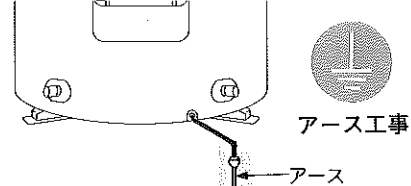
- 給湯時は湯水混合栓に手を触れないでください。
- 排水時はお湯に手を触れないでください。
- 逃し弁点検時は配管に手を触れないでください。

給湯レバーを開くと湯水混合栓からお湯がでます。特に朝の使いはじめは空気の混ざった熱湯が出ることがあります。給湯レバーは少しずつ開いてください。

近くにガス類や引火物を置かない

置くと、発火・火災になることがあります。

改造をしない

（修理技術者以外の人は、分解・改造・修理をしない）

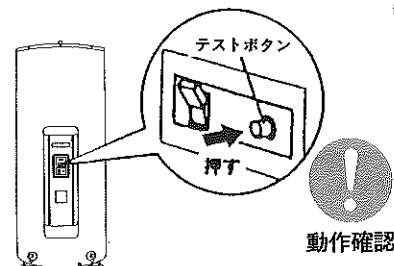
発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

アース工事を確認する

工事に不備があると、故障や漏電のときに感電することがあります。

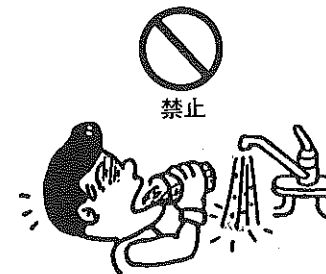
アースの取付けは、据付け工事店かHOLSお客様相談窓口へお問合せください。

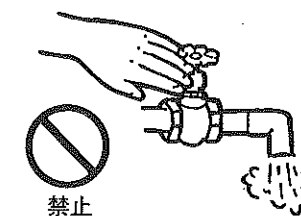
前面カバーを開けない （3ページ）

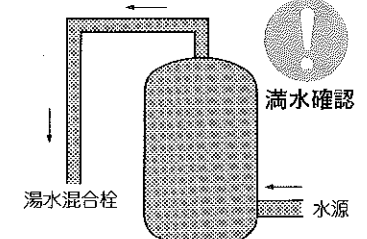
開けると、感電することがあります。

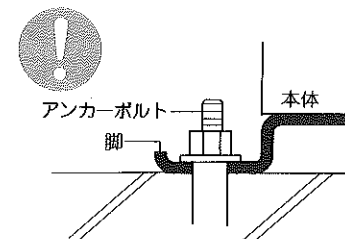
漏電遮断器の動作を確認する （12ページ）

故障のまま使用すると、感電することがあります。

⚠注意

飲用はしない

長期間の使用により水質が変化した場合、下痢・腹痛など、体をこわすことがあります。

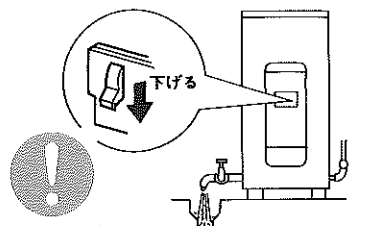
タンクの熱湯を直接排水しない

やけどをすることがあります。
また、排水管などを破損することがあります。
水でうすめてから排水してください。

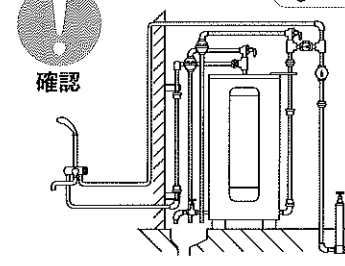
通電はタンクを満水にしてから行う

「空焼き」の場合、ヒーターが過熱して故障の原因になります。

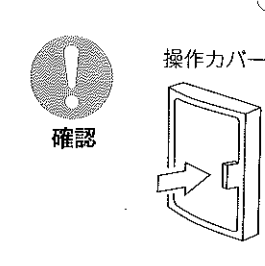
脚がアンカーボルトで固定されているか確認する

固定されていないと地震のとき本体が倒れてけがをすることがあります。

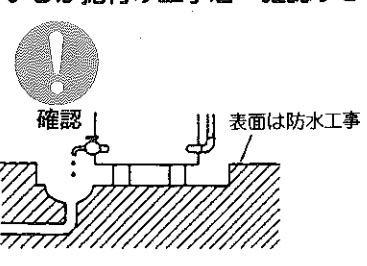
逃し弁の点検をする （11ページ）

点検しないとタンクが破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。

1カ月以上使用しないときは、電源を「切」にしてタンクの排水をする （9ページ）

排水しないと
水質が変化することがあります。

凍結防止対策の確認をする （8ページ）

凍結するとタンクや配管が破裂して水漏れでやけどをすることがあります。

操作カバーは閉じる （3ページ）

開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

床面が防水・排水処理されているか据付け工事店へ確認する

処理されていない場合、水漏れが起きたとき大きな損害につながることがあります。

各部のなまえとはたらき

本体

給湯口
本体からのお湯の出口です。

沸き上げ中ランプ
ヒーターに通電しているときに点灯します。

操作カバー

前面カバー

給排水口
左右にあり、給水用と排水用に使い分けられます。

脚

本体銘板
形名がここに書いてあります。

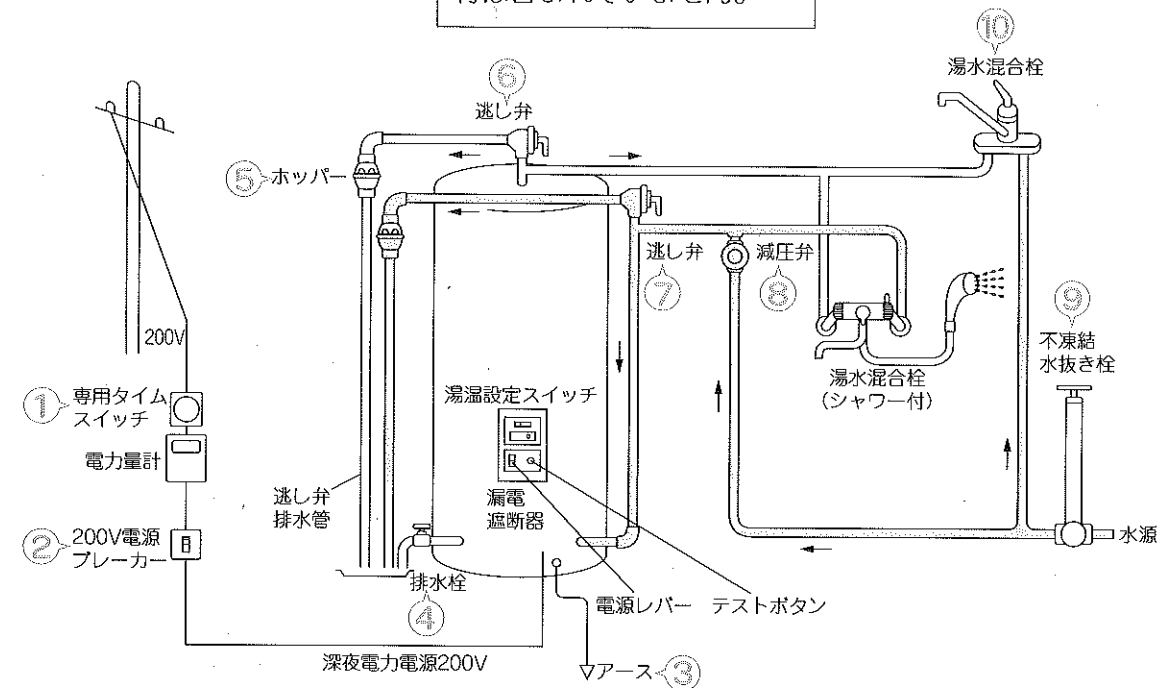
湯温設定スイッチ
沸き上げ湯温を設定するスイッチです。

漏電遮断器電源レバー
このレバーで電源を「入」・「切」にします。
使用中は常に「入」にしておきます。
異常時は「切」にして、工事店へご連絡ください。

漏電遮断器テストボタン
漏電遮断器が正しく動作するかをテストするボタンです。電源の通電中に確認してください。

アース端子
アース線を接続するための端子です。

本体周辺部

BL認定の範囲は本体、逃し弁、減圧弁です。配管、部材は含まれていません。

①専用タイムスイッチ
深夜電力電源（200V）の供給を自動的に「入」、「切」します。

②200V電源ブレーカー
200V電源の「入」、「切」をします。

③アース
万一の感電を防ぎます。

④排水栓
タンク内の水を排水するときに操作します。

⑤ホッパー
排水管が凍結したときにも逃し弁からの膨張水が排出できるようにします。また、タンク排水時に逃し弁からの空気取入れ口にもなります。

⑥逃し弁（給湯側）
沸き上げ時の膨張水を排出しタンク内を一定圧力にします。

⑦逃し弁（給水側）
沸き上げ時の膨張水を排出しタンク内を一定圧力にします。

⑧減圧弁
タンクへの給水圧力を一定にします。

⑨不凍結水抜き栓
タンク内への「給水」、「止水」と凍結防止時、水抜きとして機能します。

⑩湯水混合栓
お湯を取り出します。
＊浴室ではやけど防止のためサーモスタット付混合栓をお勧めします。

ご使用方法

使用前の準備と給湯

使いはじめは配管内のゴミや油を流すため一度給水、排水をしてから給水してください。

給水

①排水栓を閉じる。
②湯水混合栓やシャワーの湯温調節を「高」にして給湯レバーを開く。
③不凍結水抜き栓を開く。
④約30～40分して湯水混合栓やシャワーから水が出てきたら(**満水確認**)給湯レバーを閉じる。給水時間はタンク容量や配管によって多少変わります。

排水

⑤不凍結水抜き栓を閉じる。
⑥逃し弁のレバーを上げる。
⑦排水栓を開く。約30～40分で水が抜けます。
⑧排水が終わったら排水栓を閉じて逃し弁のレバーを下げる。

給水

⑨不凍結水抜き栓を開く。
⑩湯水混合栓やシャワーから水が出てきたら(**満水確認**)給湯レバーを閉じる。

運転

⑪深夜電力の200V電源ブレーカーを「入」にする。
⑫漏電遮断器の電源レバーを「入」にする。
⑬湯温設定をする。(7ページ)

お知らせ
- **深夜電力は専用タイムスイッチによって毎晩自動的に供給されます。**
- **給湯は翌朝から使用できます。**

給湯

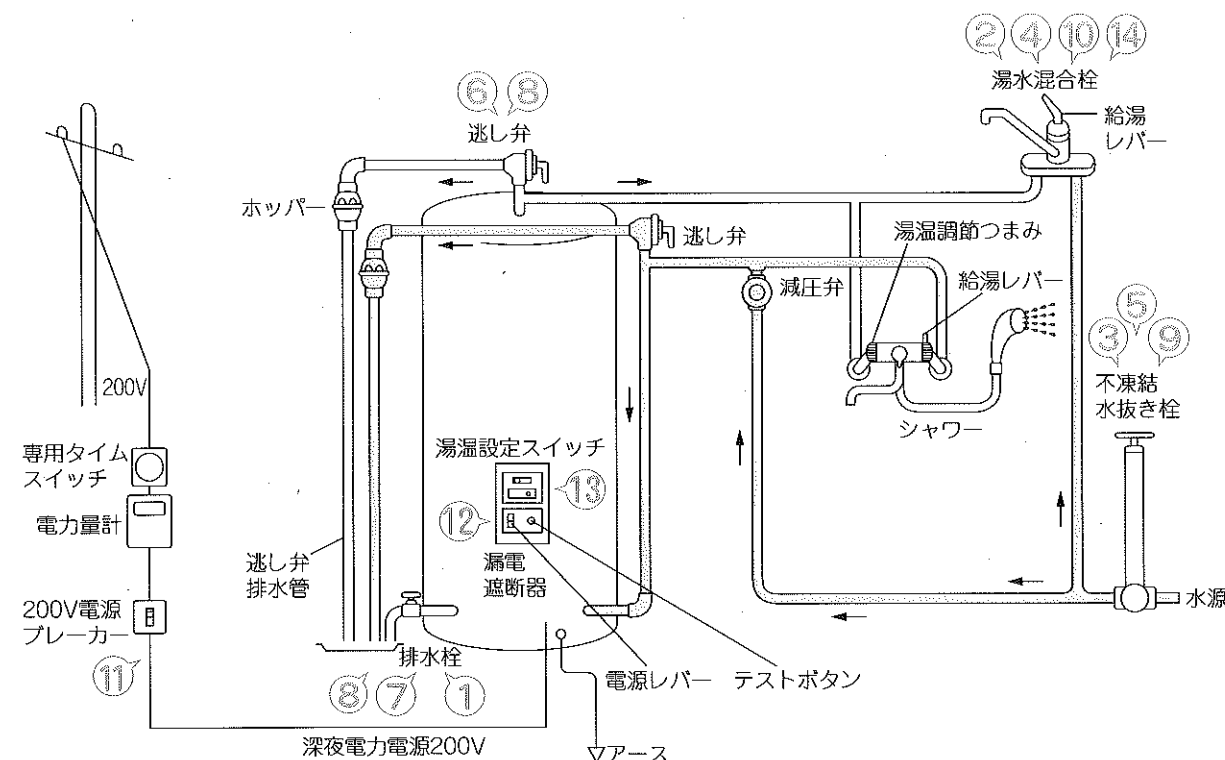
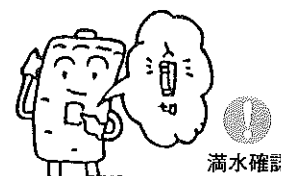
⑭湯温調節を「低」側にしてから給湯レバーを開きちょうどよい湯温にする。

お知らせ **給湯すると温水器に自動的に給水されます。**

⚠注意

通電はタンクを満水にしてから行ってください。「空焼き」した場合ヒーターが過熱して故障の原因になります。

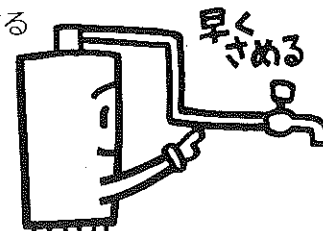
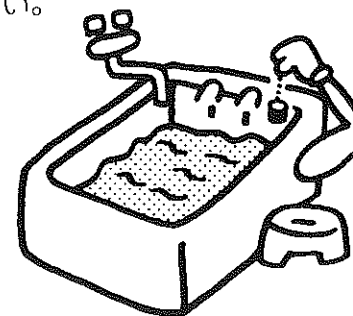
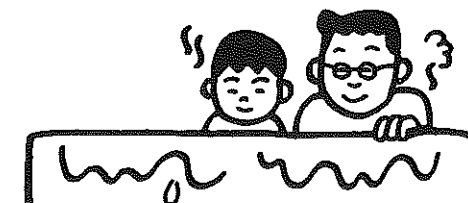
満水確認

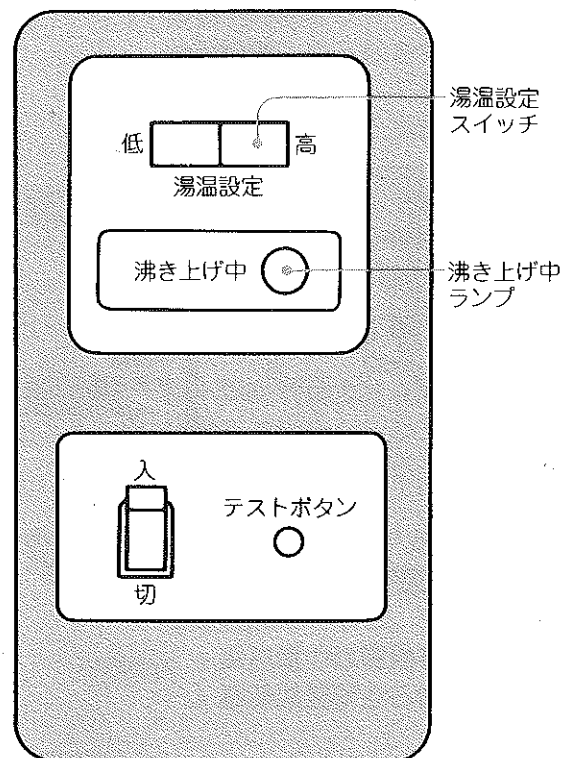
湯水混合栓 ②④⑩⑭
給湯レバー
逃し弁 ⑥⑧
ホッパー
逃し弁
湯温調節つまみ
給湯レバー
減圧弁
シャワー
不凍結水抜き栓 ③⑤⑨
200V
専用タイムスイッチ
電力量計
湯温設定スイッチ ⑫⑬
漏電遮断器
逃し弁排水管
200V電源ブレーカー ⑪
排水栓 ⑧⑦①
電源レバー
テストボタン
水源
深夜電力電源200V
アース

お湯の上手な使い方 1日に使用できるお湯の量は限られています。お湯は大切にお使いください。

特に冬季は水温が低くなり、ムダな使い方をしますと湯量不足になることがありますから上手に使いましょう。

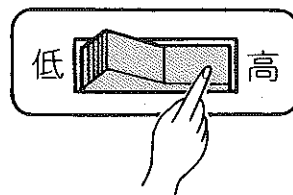
- 流し洗いはお湯のムダ使いになります。お湯は容器に受けて使いましょう。

- 配管内のお湯は早くさめます。シャワーや湯水混合栓の開閉回数をできるだけ少なくすると効果的です。

早くさめる

- お風呂の湯温を高くしたいときは、お湯を少し減らしてから足し湯を行ってください。

- 入浴は、できるだけ深夜電力時間帯(沸き上げ中ランプの点灯中)を避けて続けて入浴してください。
点灯中にお湯を使うと翌日の湯温が低くなり、湯量不足になります。

ご使用方法

湯温設定

高運転

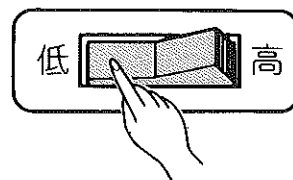
- 約85℃に沸き上げます。
- 来客の予定がある場合や冬季など多量のお湯を必要とする場合に使用します。

湯温設定スイッチの「高」を押す

低運転

- 約65℃に沸き上げます。
- 夏季などお湯の使用量が少ない場合に使用します。

湯温設定スイッチの「低」を押す

上手な使い方

- ご家庭の使用湯量、家族構成の変動、来客のご予定などに合わせてご使用ください。
- 来客などで使用湯量が急増するときや熱いお湯が必要なときはまえもって（前日までに）「高」に設定してください。

お知らせ

- 「低」でご使用のときは湯量不足にならないよう注意してください。
- 沸き上げ中ランプが点灯中に「高」に切換えると約85℃まで沸き上がらないことがあります。
- 当日の湯の使用量が少ない場合、その日の夜にヒーター通電しないことがあります。
- 蛇口の湯温は、配管部材からの放熱で沸き上げ湯温より低めになります。
- 沸き上げ湯温は沸き上げ直後のタンク内の温度で時間の経過とともに少しずつ低下します。

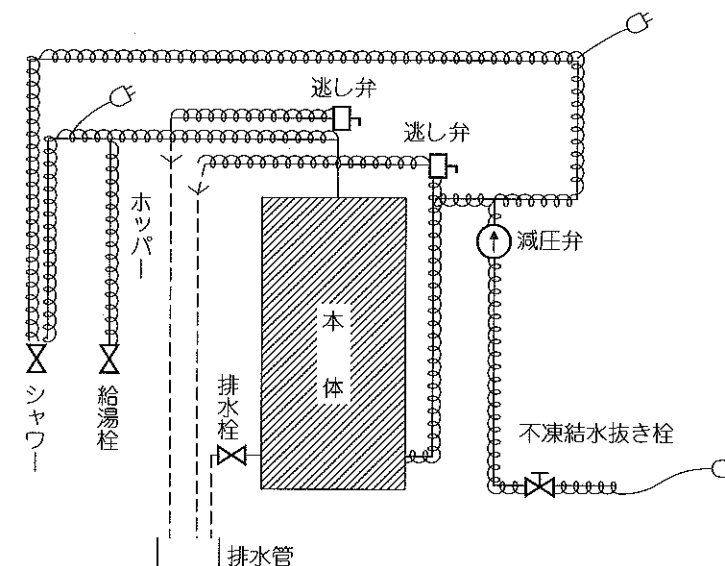
凍結防止について

凍結防止について必ずお読みください

据付場所の周囲温度が0℃以下になる場合には配管や減圧弁、逃し弁が凍結し、配管や本体が破損する恐れがありますので、凍結防止対策が必要です。

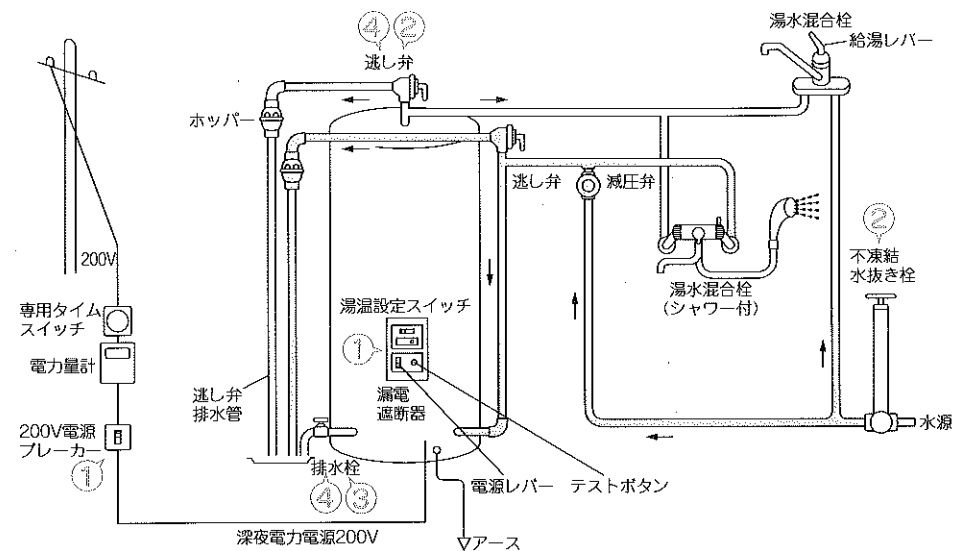
凍結防止対策としては「凍結防止ヒーターによる方法」があります。

凍結防止ヒーターによる方法

- 凍結防止ヒーターが図のように巻かれているかを確認します。
- 凍結防止ヒーターは何本も使用されていますので、すべてのヒーターのプラグをコンセントに差し込みます。
- 凍結しない季節は安全のためコンセントからプラグを抜いておきます。

長期間使用しないときは

1ヵ月以上のとき（電源を切りタンク内の水抜きをします。）

長期間使用しないとタンク内の水が変質しますのでタンク内の水抜きをします。

※水抜きは、お湯をすてるムダを少なくするため、お風呂に給湯するなど、多量のお湯を使用した後に行います。

①深夜電力の200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にします。

②不凍結水抜き栓を閉じてから、逃し弁のレバーを上げます。

③排水栓を開きます。（熱いお湯が出る場合がありますので、やけどに注意してください。）

④排水が終わりましたら逃し弁のレバーを下げ、排水栓を閉じます。

☆**再びご使用になるときは使用前の準備と給湯手順（5ページ）に従ってください。**

1カ月以内のとき（電源を切ります。）

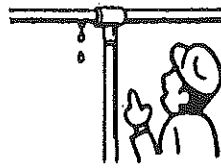
1カ月以内でも冬季凍結の恐れのあるときは、タンクや配管を破損しますので「1カ月以上のとき」に従ってタンク内の水抜きをしてください。

①漏電遮断器の電源レバーを「切」にします。

☆**再びご使用になるときは必ずタンクが満水であることを確認してから漏電遮断器の電源レバーを「入」にしてください。**

お手入れと定期点検のお願い

配管の点検

配管の保温材破損や水漏れがないか点検します。
保温材の破損や、水漏れが生じている場合は、据付け工事店にご連絡ください。
特に冬季に入る前には、必ず保温材のチェックを行います。破損している場合、配管が凍結し、本体や配管が破損することがあります。

⚠注意
配管を点検する
マンションなど、中・高層住宅では水漏れが起きた場合、下層階に被害を及ぼすことがあります。

タンクのお手入れ（1ヵ月に1度）

①排水栓を約1～2分間開きます。
タンクの下部にたまった汚れを排水します。

②汚れがなくなったら排水栓を閉じます。
汚れが多い場合は、数回繰り返します。

⚠警告
やけどに注意する
排水時は熱湯が出ます。

逃し弁の点検（1ヵ月に1度）

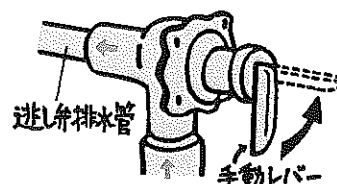
1.逃し弁の動作点検

①逃し弁のレバーを上げ、水（お湯）が排水口から出ることを確認します。
②お湯が出れば正常です。
お湯が出ないときは、不凍結水抜き栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付け工事店へご連絡ください。
また、レバーの動きが悪い場合は、早めに据付け工事店へご連絡ください。

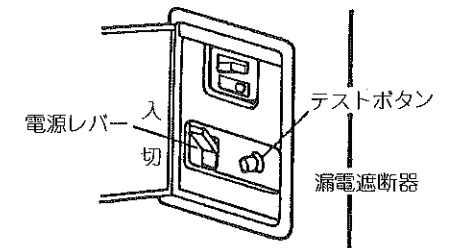
2.逃し弁の水漏れ点検

①「沸き上げ中ランプ」が消灯中に排水口からお湯がでていないかを確認します。
②お湯が出ているときは、手動レバーを数回上下に動かしてください。それでもお湯が止まらないときは不凍結水抜き栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付け工事店へご連絡ください。

⚠警告
点検時は、配管に手を触れない
（やけどの原因）

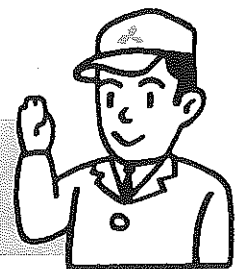
⚠注意
逃し弁の点検をする
タンクや配管が破裂して、やけどの原因になります。

漏電遮断器の点検（1ヵ月に1度）

漏電遮断器の点検は深夜電力時間帯に行なってください。

①テストボタンを押します。
②「入」になっていた電源レバーが「切」になれば正常です。電源レバーを必ず「入」にもどします。
テストボタンを押しても電源レバーが「切」にならないときは、200V電源ブレーカーを「切」にして据付け工事店へご連絡ください。

⚠警告
漏電遮断器の動作を確認する。
故障のまま使用すると感電する恐れがあります。

水漏れの点検

本体や、周辺配管などから水漏れが生じたときは、不凍結水抜き栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付け工事店へご連絡ください。

定期点検のお願い（有料）

電気温水器を少しでも長く使用するために、定期点検（有料）を行なってください。定期点検については、据付け工事店（販売店）または「ＨＯＬＳお客様相談窓口」へご相談ください。
点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

定期点検の主な内容

項目	内容
据付け状態	設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認
機能部品	電気部品（配線、導通、動作の確認）、逃し弁、減圧弁の点検
清掃	タンク内の清掃（沈殿物の除去など）

消耗部品の交換

逃し弁、減圧弁、ヒーターパッキンは消耗部品です。劣化している場合は、早めに据付け工事店にご連絡ください。

修理を依頼する前に

こんなときは故障ではありません。

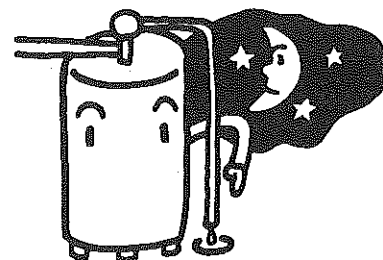
お湯から油や臭いが出る

初めて使うときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。

逃し弁からお湯が出ている

逃し弁が正常に作動していると、沸き上げ中（沸き上げ中ランプが点灯中）に水からお湯になるときの膨張分が逃し弁から出ます。

お湯が白く濁ってみえる

これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、蛇口を開けたとき大気圧まで急に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。少し時間をおくと消えてしまい、全く無害なものです。

故障かなと思ったら

こんなとき	調べていただきたいこと	していただきたいこと
お湯が出ない 出が悪い	●断水していませんか。	断水が終わるまで待ってください。
	●不凍結水抜き栓は開いていますか。	閉じていれば開いてください。
	●配管部分が凍結していませんか。	とけるまで待ってください。
お湯が沸かない 足りない	●200V電源ブレーカーが「切」になっていませんか。 ●漏電遮断器の電源レバーが「切」になっていませんか。	「入」にしてください。
	●湯温設定は適切ですか。	「高」に切換えてください。（7ページ）
	●逃し弁の排水口から昼間、お湯か水が出ていませんか。	逃し弁を点検してください。（11ページ） 逃し弁を点検してもなおらない場合は減圧弁の故障も考えられますので、据付け工事店にご連絡ください。
	●沸き上げ中ランプが点灯中にお湯をたくさん使用しませんでしたか。 ●いつもにくらべてお湯をたくさん使用しませんでしたか。	翌日までお待ちください。

以上のことをお調べになり、それでも異常があるときは必ず漏電遮断器の電源レバーを「切（OFF）」にし、据付け工事店またはお近くの「HOLSお客様相談窓口」へご相談ください。

保証とアフターサービス

保証書について

- この製品には保証書がついています。保証書は、必ず「据付け工事店（販売店）名、お買上げ日」などの所定事項の記入を確かめて据付け工事店からお受け取りください。
- 保証書記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

保証期間

- お買い上げの日から2年間です。
（ただし、タンクは5年です。）

据付工事説明書に記載されていない方法で工事され、凍結や負圧により本体が損傷した場合、有償となります。

補修用性能部品の保有期間

- この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後10年です。この期間は（財）ベターリビングの指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理サービス

- 製品の具合が悪いときは13ページの「故障かなと思ったら」をお読みになって今一度チェックしてください。
それでも具合の悪いときは据付け工事店またはお近くの「HOLSお客様相談窓口」へご相談ください。

保証期間中の修理

- 保証期間中の修理については、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって、据付け工事店が修理させていただきます。

保証期間経過後の修理

- 保証期間経過後の修理については据付け工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客さまのご要望により有料修理をいたします。

ご連絡いただきたい内容

品　　名	電気温水器
形　　名	
お買上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所・お名前、電話番号、訪問希望日	

修理料金の仕組み

- 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

ご不明な点に関するご相談は

- 据付け工事店かお近くの「HOLSお客様相談窓口」にご相談ください。